

花開く仲町
— 歓楽街再考 —



目次

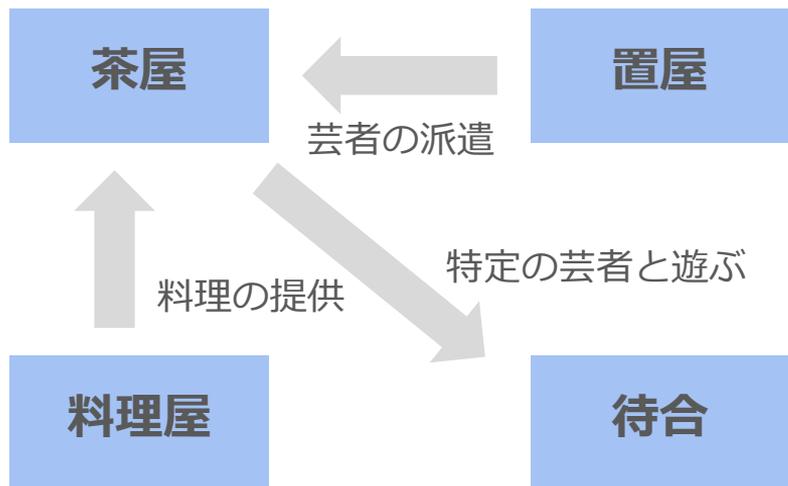
- 1 歓楽街の一般論
- 2 仲町界隈の現状分析
- 3 withコロナへの提言
- 4 postコロナでの歓楽街の変化
- 5 postコロナへの提言

歓楽街とは

大半の歓楽街の起源は「花街」



3施設の協力で構成される花街システム



強い接待機能とイメージの低下

江戸後期-明治	富裕層の娯楽 逃避場所
戦後-1970年代	男性の遊びの安価化 文化の発信地
-現在	観光・接待機能 迷惑施設化

客を包みこむスナックの魅力

プライベート性
窓が設置されていない

人間関係
ママ-常連客のネットワーク



歓楽街におけるコロナの影響

三密空間での感染拡大

特有の営業形態、公的支援を受けられず営業を継続

営業形態の変化・人出の減少による利益の減少

対面接客と感染予防の両立困難

業種・地域・店ごとのガイドラインに沿った営業

地域で統一された対策の重要性

対面で接客する限りは完全に感染を予防することは不可能
空間的な対策が必要



仲町界隈の特徴

豊かな歴史

寛永寺周辺に発達した門前町、茶屋、花街が起源

多様な国籍

アジア・アフリカ系の店、外国人観光客

増加するファミリー層

周辺でのマンション開発

オフィス以外の周辺施設

文化施設、大学、公園、寺社



上野・湯島近辺の地図

仲町界隈の課題

地域連携の難しさ

不均一な街並み、地域連携への障壁

空間的孤立

大通りに囲まれた地域、不忍池との分断

治安の悪化

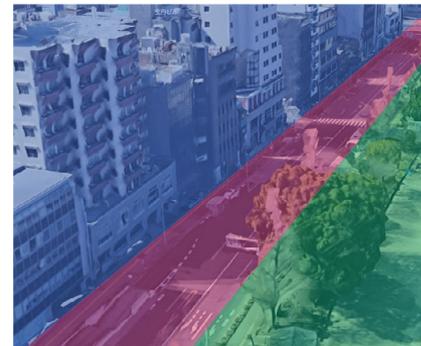
風俗店の増加とそれによる

客引きの発生

老舗との共存の難しさ



商店会分布図



仲町界隈(青)と不忍池(緑)の分断

仲町通りの様子
(右図の ← →)

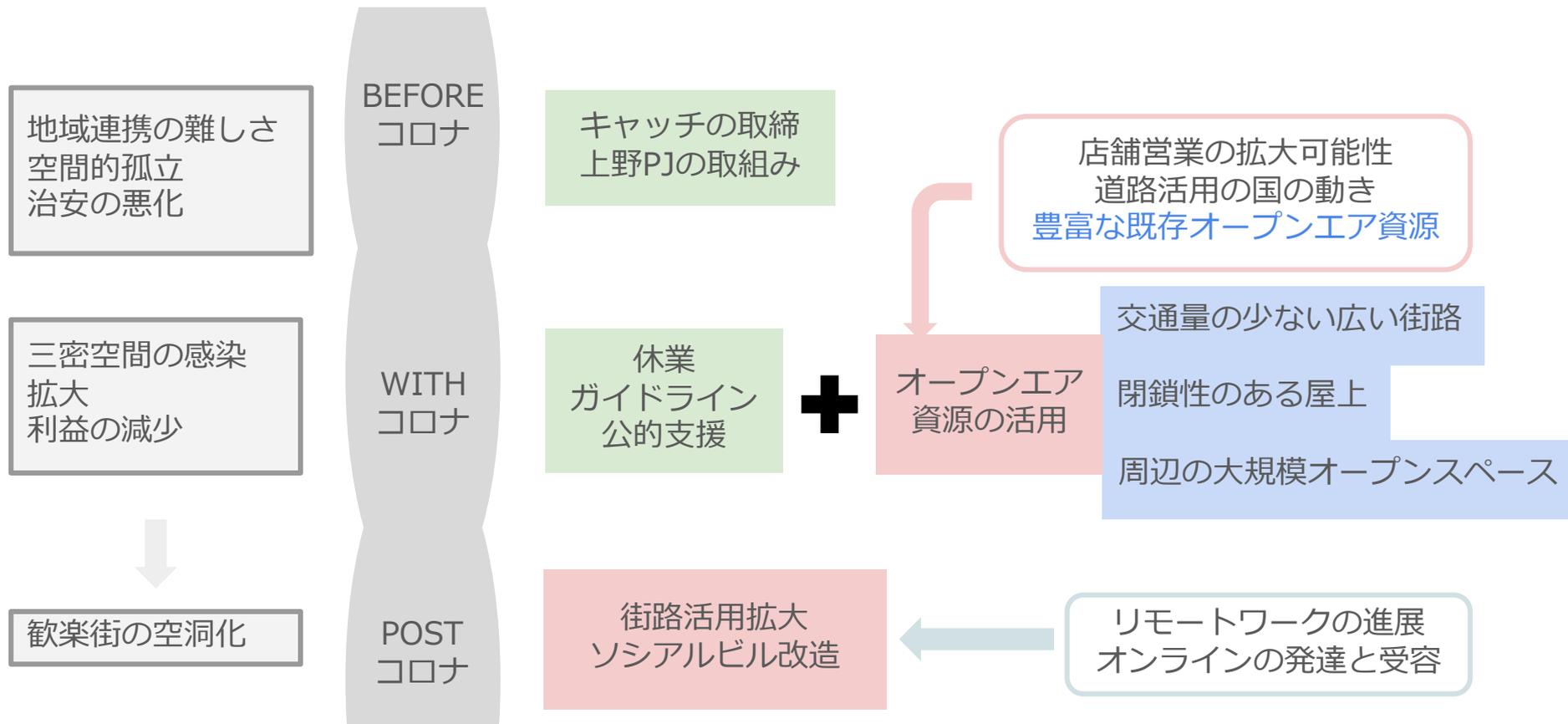


分布図：(左)老舗 (右)キャバクラ・クラブ・風俗店





提言に向けた整理





オープンエア資源

屋上空間、街路、上野公園など周辺に豊富なオープンエア空間がある

これらの屋外資源を活用しながら営業を続ける



Google map



対象敷地内のオープンエア空間



対象敷地北側の広大なオープンスペース

Google map



with コロナへの提言

街路

街路に共用テラス席を設置し、主に飲食店利用者がフードコートとして利用する

before コロナ



with コロナ

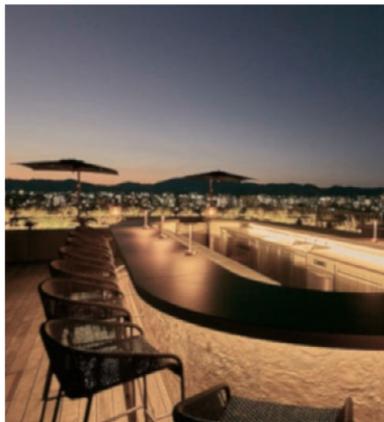


- テラス席
- 歩行者
- キャッチ
- 建物



屋上

バーやスナックなど閉鎖性を求める業種が形態を保ったまま営業を続ける



ザ・ホテル青龍 京都清水 K36
<https://travel.mdpr.jp/travel/detail/1790956>

周囲の大規模オープンスペース

不忍池の上で水上スナック、上野公園で屋台やキッチンカーを使った出張営業を行う



アメリカのtiki
<https://www.boats.com/reviews/cruisin-tiki-review/>

新宿中央公園
[https://parks.prj.or.jp/shinjuku/information/春のキッチンカースタート! /](https://parks.prj.or.jp/shinjuku/information/春のキッチンカースタート!/)

postコロナで仲町が果たす役割



コロナによる
社会変化

コロナによる
人々の変化

仲町界隈の
傾向

ファミリー層の増加
高齢化の進展

リモートワーク
の進展

可処分時間の増加

遊ぶ時間の24h化

「身近」への回帰

夜だけ
じゃない街

地域の人
集まる場所へ

時間・人の多様性を生み出す

オンラインの
発達と受容

対面ならではの
体験の需要

外出先では予期
せぬ何かを求める

偶発性・
ライブ性

特定の人による
おもてなし

歓楽街の接待機能の強化



postコロナへの提言の方針

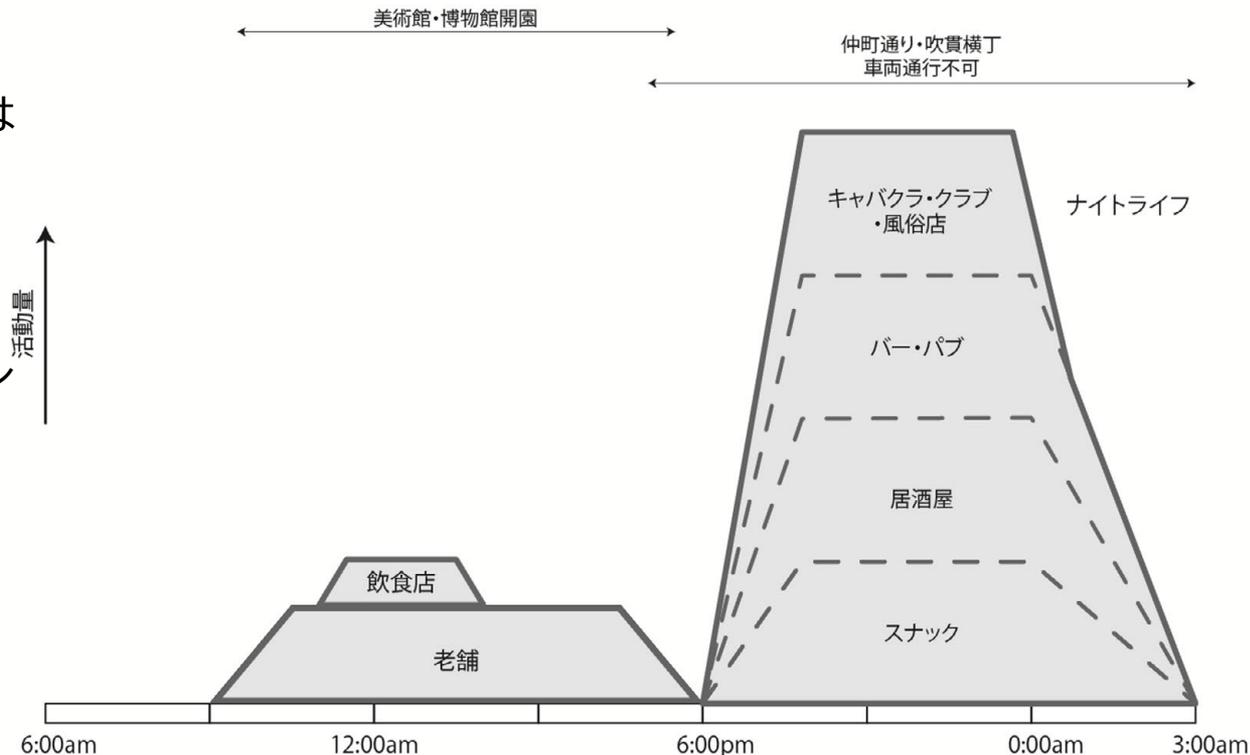
preコロナの活動量時間変化

時間の多様性

ナイトライフが盛んで、活動は夜・深夜に偏在する

人の多様性

近辺に職場をもつサラリーマンによる利用が大半を占める





postコロナへの提言の方針

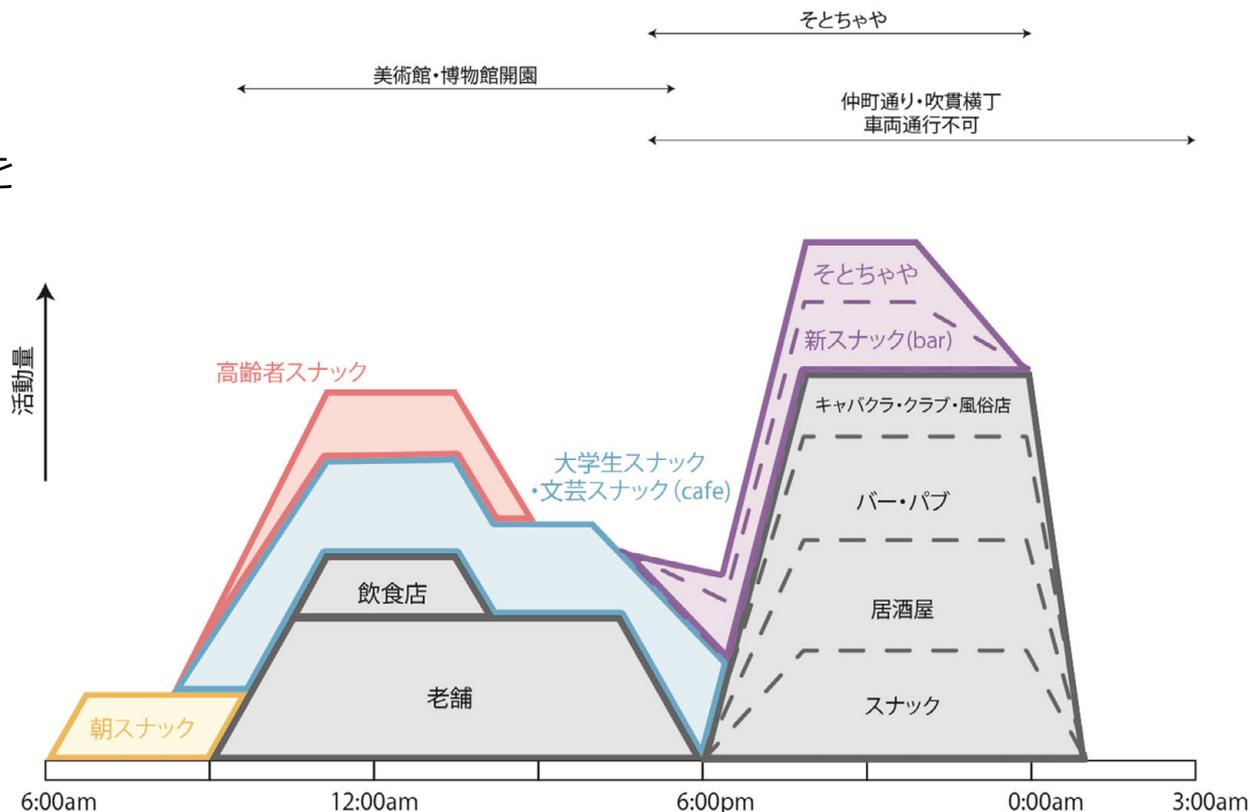
postコロナの活動量時間変化

時間の多様性

夜・深夜に偏在していた活動を
朝・昼に分散させる

人の多様性

サラリーマンだけでなく
若者・高齢者・ファミリーに
よる利用を促進する





postコロナへの提言の方針

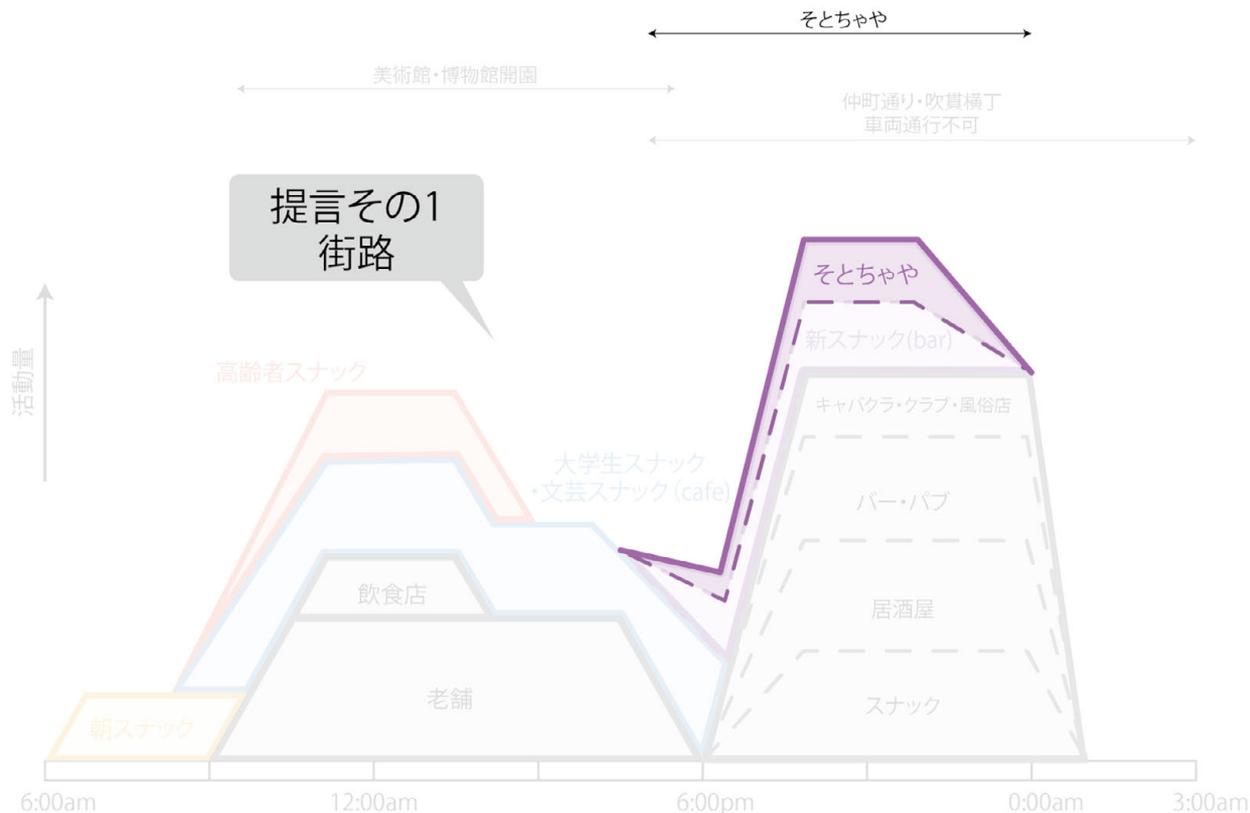
postコロナの活動量時間変化

時間の多様性

夜・深夜に偏在する活動を
朝・昼に分散させる

人の多様性

サラリーマンだけでなく
若者・高齢者・ファミリーに
よる利用を促進する





postコロナへの提言の方針

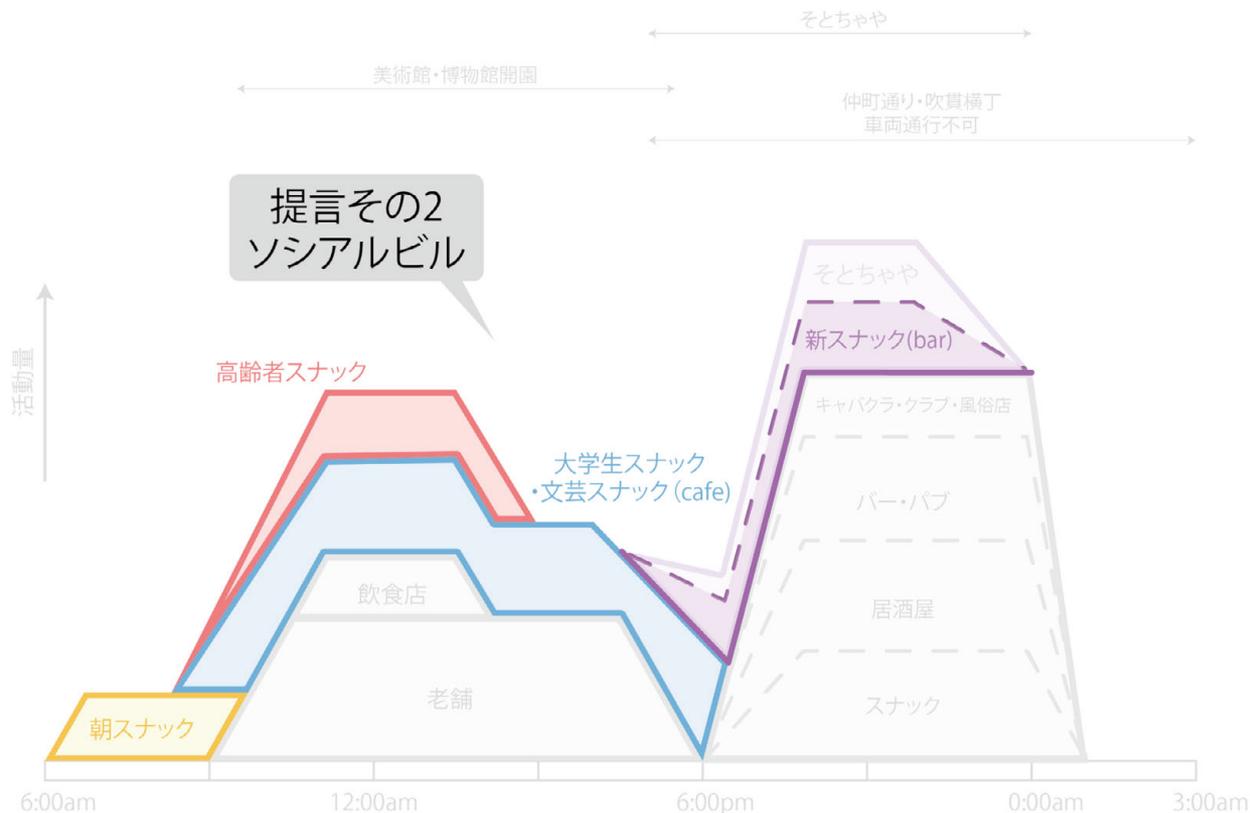
postコロナの活動量時間変化

時間の多様性

夜・深夜に偏在する活動を
朝・昼に分散させる

人の多様性

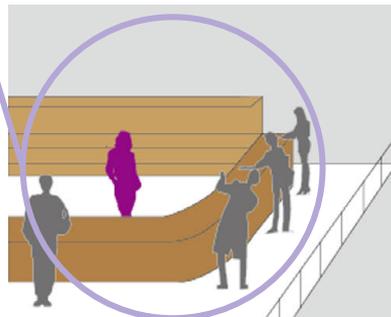
サラリーマンだけでなく
若者・高齢者・ファミリーに
よる利用を促進する



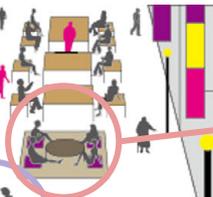


postコロナへの提言その1 「そとちゃや」

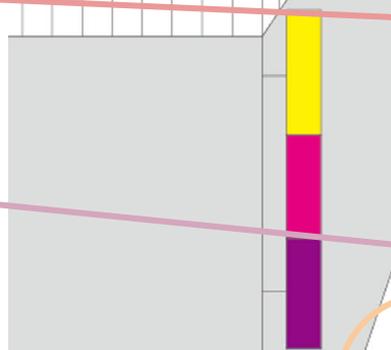
開放型スナック



老舗の特色が表れた座敷



周囲から仕切られたテラス席



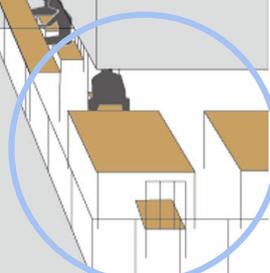
スナックの路上進出



クルーによる接待



テラス席



多様な客層



開口部でパフォーマンス

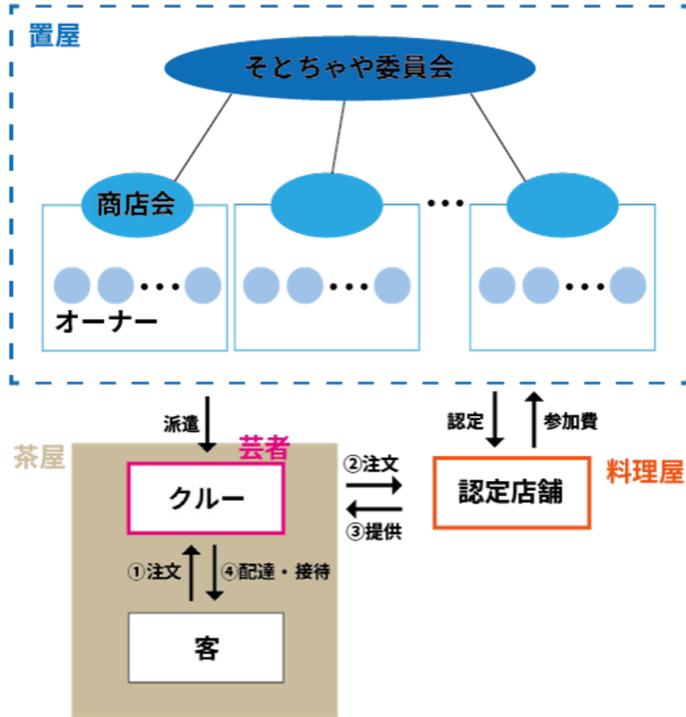


「そとちゃや」イメージパース

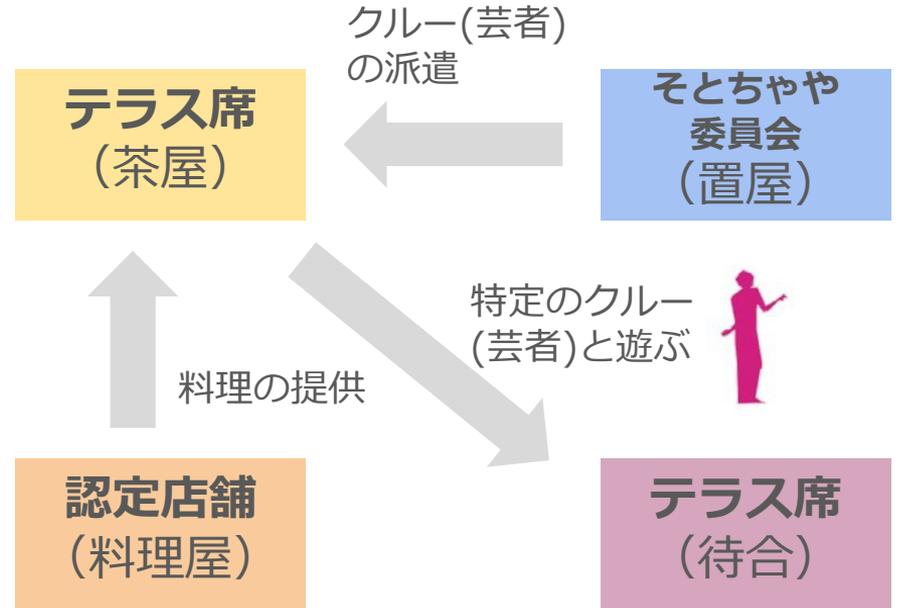


postコロナへの提言その1 「そとちゃや」

「そとちゃや」運営体制



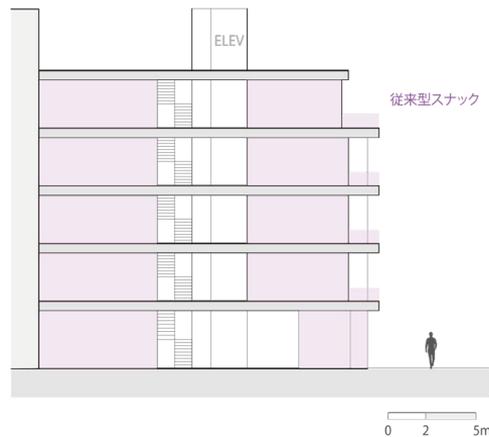
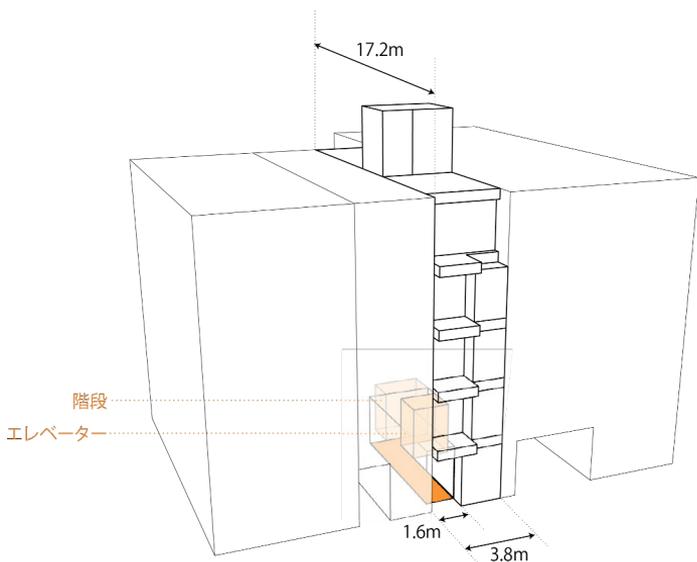
花街を読み替えた「そとちゃや」システム





postコロナへの提言その2 ソシアルビル

現状



間口と入口が狭く、
防災性、バリアフリー性、アクセシビリティが低い

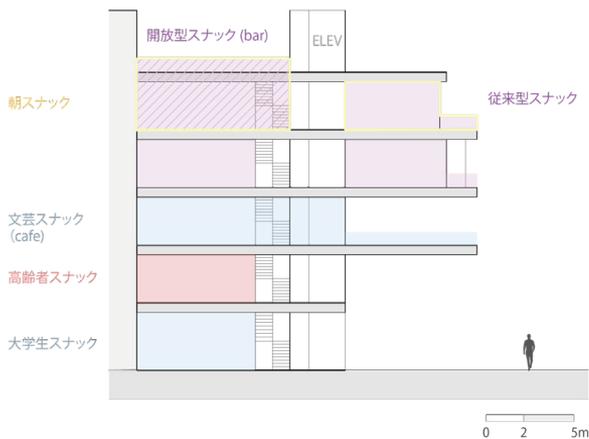
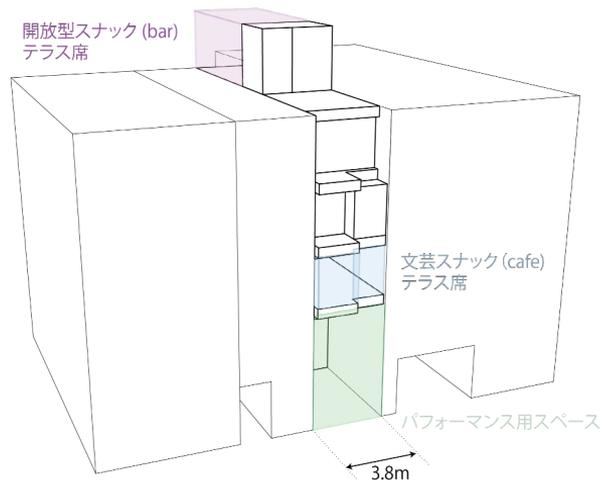
上層部に空きテナントが多い

夜～深夜に営業するテナントのみが存在



postコロナへの提言その2 ソシアルビル

吹き抜け型



1・2階部を吹き抜け、3階の街路側の部屋を屋外テラス席化

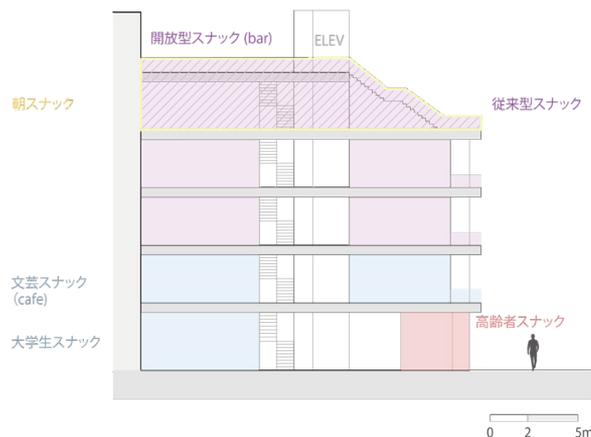
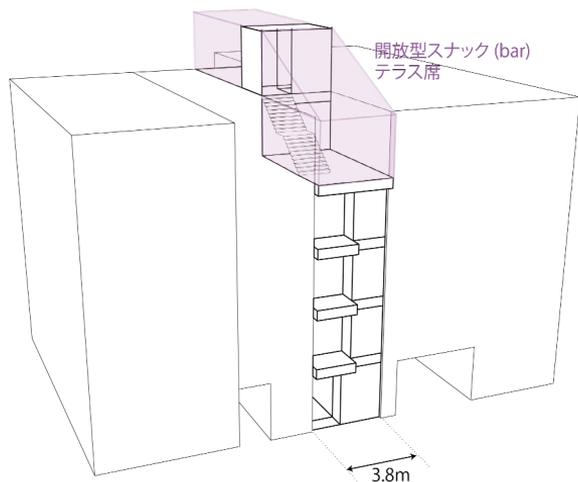
奥の部屋、上層部へ繋がる階段やエレベーターへのアクセシビリティ向上

1~3階部を大きく街路に開くことで、建物と街路の境界線を曖昧化



postコロナへの提言その2 ソシアルビル

屋上開放型



5階部の街路側を屋上テラス席化

上層階の価値向上による空きテナントの解消

街路側に屋上テラスを大きく開くことで、街路と建物上層階に一体感を創出



postコロナへの提言その2 ソシアルビル

内装例 -大学生スナック-

近接性を生かした
店員との密なコミュニケーション

明るい内装



カフェ的な利用



まとめ

with コロナ

三密回避のための提言

テラス席

屋上利用

キッチンカー・水上スナック



post コロナ



屋外に開く

多様な人と時間に関く